

## 目 次

|     |                       |    |
|-----|-----------------------|----|
| I   | 平成27年度 さいたま市学習状況調査の概要 | 1  |
| II  | 調査結果と特徴的な問題の解説        |    |
| i   | 中学校第1学年               |    |
| 1   | 調査問題【出題の趣旨】           | 4  |
| 2   | 調査問題一覧表【設問別】          | 5  |
| 3   | 特徴的な問題と解説             | 6  |
| ii  | 中学校第2学年               |    |
| 1   | 調査問題【出題の趣旨】           | 10 |
| 2   | 調査問題一覧表【設問別】          | 11 |
| 3   | 特徴的な問題と解説             | 12 |
| III | 調査結果概況【市全体】           | 16 |
| IV  | 成果と課題                 | 17 |

## Ⅱ 調査結果と

# 特徴的な問題の解説

英語科の調査問題について、中学校第1、2学年における以下の内容を掲載しています。「さいたま市小・中一貫教育」の観点から、小学校「英会話」の内容も含め、日々の学習指導に役立ててください。

### **1 調査問題【出題の趣旨】**

大問ごとに、出題の意図や趣旨を示しています。特記すべき事項のあるものについては、ここに示しています。

### **2 調査問題一覧表**

設問ごとに、問題の種類、学習指導要領の領域等、評価の観点、設問のねらい、市の平均正答率を示しています。

### **3 特徴的な問題と解説**

平成27年度調査において、特徴的な問題を取り上げ、出題の趣旨、指導のポイントを示しています。

i 中学校第1学年  
1 調査問題【出題の趣旨】

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <p>1<br/>4<br/>聞くこと</p>         | <p>①は、短い英語の問いかけに対し、適切な応答を選択する問題である。これは、学習指導要領の「質問や依頼などを聞いて適切に応じること」に関連させた問題であり、質問の内容や意図を正しく理解し、適切な応答を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。なお、(1)～(3)は、さいたま市小・中一貫『潤いの時間』「英会話」カリキュラムにおいて、小学5・6年生で扱った内容からの出題である。</p> <p>②は、短い英文や会話を聞き、その内容に合う絵を選択する問題である。これは、学習指導要領の「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」に関連させた問題であり、英文や会話の内容を正しく理解し、それが絵として具体化できるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>③と④は、学習指導要領の「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」、及びさいたま市小・中一貫『潤いの時間』「英会話」における「英語によるコミュニケーション力の構成要素」である「『推測し、理解する力』(聞く力)」を育成することに関連させた問題である。</p> <p>③は、英語のスピーチを聞いて、その内容に関する質問に答える問題であり、あらかじめ提示された質問の内容を理解し、その答えとなる正確な情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>④は、英語のスピーチを聞いて、その内容に関する質問に答える問題であり、二人の人物のうち、ジュディーに関する必要な情報を正確に聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。</p> |
| <p>5<br/>6<br/>読むこと</p>         | <p>⑤と⑥は、学習指導要領の「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」に関連させた問題である。</p> <p>⑤は、対話文を読んで、その内容に関する質問に答える問題であり、対話文の要点を理解し、公園までの交通手段及び二人の日曜日の予定を正確に読み取ることができるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>⑥は、まとまりのある英文を読んで、その内容に関する質問に答える問題であり、あらかじめ提示された質問の内容を理解し、その答えとなる正確な情報を読み取ることができるかどうかを把握するために出題した。</p>   |
| <p>7<br/>8<br/>書くこと</p>         | <p>⑦と⑧は、「さいたま市小・中一貫教育」カリキュラムにおいて、さいたま市の児童生徒にはぐくみたい外国語科の力として示されている「具体的な使用場面において適切に理解し、表現する力」を育成することに関連させた問題である。</p> <p>⑦は、絵の内容を表す英文を書く問題であり、絵が表している内容を正確に理解した上で、場面に適した英文を書くことができるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>⑧は、家族や友達などの身近な人について、条件に従い、英文を書く問題であり、学習指導要領の「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」という内容を踏まえ、今まで学習してきた文法事項等を基に、正しい語順や語法で英文を書くことができるかどうかを把握するために出題した。</p>   |
| <p>9<br/>10<br/>言語材料(文法事項等)</p> | <p>⑨は、対話の場面や流れに合った適切な英文を選択する問題である。これは、「さいたま市小・中一貫教育」カリキュラムにおいて、さいたま市の児童生徒にはぐくみたい外国語科の力として示されている「具体的な使用場面において適切に理解し、表現する力」を育成することに関連させた問題であり、具体的な場面や状況に合った適切な表現に関する知識を身に付けているかどうかを把握するために出題した。なお、(1)は、中学2年生においても同一問題を出題した。</p> <p>⑩は、日本文に合うように、与えられた語や語句を適切に並べ替える問題である。これは、学習指導要領の「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」や「文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること」に関連させた問題であり、それぞれの文法事項の意味や機能に関する知識を身に付けているかどうかを把握するために出題した。なお、(1)は、中学2年生においても類似問題を出題した。</p>  |

## 2 調査問題一覧表【設問別】

| 設問番号  | 設問のねらい  | 問題   |      | 評価の観点    |             |          |          | 市               | 市      |
|-------|---|------|------|----------|-------------|----------|----------|-----------------|--------|
|       |   | 基礎問題 | 活用問題 | 関心・意欲・態度 | コミュニケーションへの | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 | 正答率(%) |
| 1(1)  | 問いかけの英文 How about you? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。                  | ○    |      |          |             | ○        |          | 78.9            | 0.3    |
| 1(2)  | 問いかけの英文 What food do you like? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。          | ○    |      |          |             | ○        |          | 84.9            | 0.3    |
| 1(3)  | 問いかけの英文 Why? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。                            | ○    |      |          |             | ○        |          | 71.2            | 0.4    |
| 1(4)  | 問いかけの英文 What's the date today? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。          | ○    |      |          |             | ○        |          | 58.4            | 0.4    |
| 1(5)  | 問いかけの英文 Who is the girl? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。                | ○    |      |          |             | ○        |          | 82.3            | 0.4    |
| 1(6)  | 問いかけの英文 When do you play soccer? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。        | ○    |      |          |             | ○        |          | 66.6            | 0.4    |
| 2(1)  | 会話を聞いて、疑問詞 where で始まる疑問文とその応答を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。     | ○    |      |          |             | ○        |          | 84.7            | 0.5    |
| 2(2)  | 会話を聞いて、時刻を尋ねる疑問文とその応答を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。             | ○    |      |          |             | ○        |          | 84.3            | 0.3    |
| 2(3)  | 英文を聞いて、助動詞 can の意味を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。                | ○    |      |          |             | ○        |          | 57.5            | 0.5    |
| 2(4)  | 会話を聞いて、三単現の疑問文とその応答を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。               | ○    |      |          |             | ○        |          | 92.5            | 0.4    |
| 3(1)  | 英語のスピーチを聞いて、内容の要点を理解し、京都で有名なものを表す適切な日本語を選択することができる。               | ○    |      |          |             | ○        |          | 89.3            | 0.4    |
| 3(2)  | 英語のスピーチを聞いて、内容の要点を理解し、湯豆腐を食べる人数を答えることができる。                        |      | ○    |          |             | ○        |          | 12.9            | 2.5    |
| 4     | 英語のスピーチを聞いて、内容の要点を理解し、サクラが書いた適切なメモを選択することができる。                    |      | ○    |          |             | ○        |          | 69.2            | 0.7    |
| 5(1)  | 対話文を読んで、要点を理解し、公園までの交通手段を表す適切な日本語を選択することができる。                     | ○    |      |          |             | ○        |          | 94.7            | 0.4    |
| 5(2)  | 対話文を読んで、要点を理解し、ユキとジョンが次の日曜日に行くことを、適切な日本語で書くことができる。                |      | ○    |          |             | ○        |          | 62.2            | 3.1    |
| 6(1)  | まとまりのある英文を読んで、要点を理解し、疑問詞 what で始まる疑問文に対する応答を適切な英語3語で書くことができる。     |      | ○    |          |             | ○        |          | 59.2            | 7.3    |
| 6(2)  | まとまりのある英文を読んで、要点を理解し、助動詞 can で始まる疑問文に対する適切な応答を選択することができる。         | ○    |      |          |             | ○        |          | 82.6            | 1.1    |
| 7     | 遊泳禁止を表す絵の内容を、適切な英語2語の英文で書くことができる。                                 |      | ○    |          |             | ○        |          | 52.7            | 10.2   |
| 8     | 身近な人についての紹介文を考え、適切な英文4文で書くことができる。                                 |      | ○    | ○        | ○           |          |          | 55.6            | 9.9    |
| 9(1)  | 対話の流れを読み取り、曜日を尋ねる際に使う適切な英文を選択することができる。                            | ○    |      |          |             |          | ○        | 67.2            | 1.1    |
| 9(2)  | 対話の場面を読み取り、ものを勧める際に使う適切な英文を選択することができる。                            | ○    |      |          |             |          | ○        | 53.6            | 1.5    |
| 9(3)  | 対話の場面を読み取り、値段を尋ねる際に使う適切な英文を選択することができる。                            | ○    |      |          |             |          | ○        | 69.4            | 1.5    |
| 10(1) | 日本語の意味を読み取り、「How many + 名詞～」の語順になるように、与えられた語や語句を適切に並べ替えることができる。   | ○    |      |          |             |          | ○        | 66.0            | 0.9    |
| 10(2) | 日本語の意味を読み取り、「is popular with～」の語順になるように、与えられた語や語句を適切に並べ替えることができる。 | ○    |      |          |             |          | ○        | 74.2            | 1.1    |
| 10(3) | 日本語の意味を読み取り、「I'm a member of～」の語順になるように、与えられた語や語句を適切に並べ替えることができる。 | ○    |      |          |             |          | ○        | 65.0            | 1.1    |

### 3 特徴的な問題と解説

#### 中学校第1学年 聞くこと

##### 【特徴的な問題】

###### 問題1

- (3) 友達があなたに You like Minami library. Why?  
(4) ALT の先生があなたに What's the date today?

###### 問題3

- Akari (アカリ) がスピーチをします。そのスピーチを聞いて、次の問いに答えなさい。  
(2) 京都で湯豆腐を食べるのは、アカリを含めて何人ですか。その数字を書きなさい。

##### 出題の趣旨

①は、短い英語の問いかけに対し、適切な応答を選択する問題であり、(3)は、さいたま市小・中一貫『潤いの時間』「英会話」カリキュラムの内容から出題したものである。問いかけにある Why? とその応答である Because～ は、小学校5年生の1学期に、自分の好きなものや嫌いなものについて理由を述べる際の活動において扱っている。また、小学校6年生では、行きたい県の理由を述べる際の活動において扱っている。このように、小学5・6年で繰り返し扱うことで、生徒にとってはなじみのある表現となっている。これまでの成果として、場面に応じた適切な応答が身に付いているかを把握するために出題した。(4)は、平成26年度調査の正答率が45.7%であり、課題が見られた問題である。‘date’と‘day’の違いを正確に聞き取ることができるかどうかを把握するために本年度も出題した。

③(2)は、英語のスピーチを聞いて、日本語での質問に対する適切な答えを書く問題である。平成26年度調査では、絵のような視覚的な情報が与えられていない問題について課題が見られた。あらかじめ提示された質問の内容を理解し、その答えとなる正確な情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。

##### 指導のポイント

#### 1 問いかけ(質問)に対する適切な応答ができるように、繰り返し練習する場면을積極的に設ける

①(4) What's the date today? をはじめ、曜日、天気などのような定型の質問については、毎時間の授業において常に行うことで定着を図ることができる。その上で、生徒が間違いやすい点を確実に指導していく必要がある。また、(3)の Why? については、例えば Yes/No 疑問文の後に、その理由を尋ねるようにし、Because～ を用いた応答を行う場面を設けることで、その定着を図るようにしたい。

#### 2 聞くポイントを提示した Listening 活動を行う

教科書本文の導入の際に、まず教科書を開けずに音声のみを聞かせる場面を設ける。その際、重要な点や教師が聞き取ってもらいたいと思う場面をあらかじめ質問にして提示することで、生徒は聞くポイントを絞って集中して音声を聞くことができるようになる。また、比較的長い英文を聞く際は、内容語や代名詞、強く発音される語や語句に着目させて、簡単なメモをとることを習慣化させる指導も行う必要がある。

【特徴的な問題】

問題5

次の Yuki (ユキ) と John (ジョン) の対話文を読んで、下の問いに答えなさい。

Yuki : Do you play any sports, John?  
 John : No, I don't. How about you?  
 Yuki : I play tennis. I like tennis very much.  
 I usually play tennis with my father on Sunday.  
 John : Where do you play?  
 Yuki : In Midori Park. We go there by bike.  
 John : Oh, my brother plays baseball in Midori Park!  
 Yuki : Really? It's a good park.  
 What do you usually do on Sunday?  
 John : I usually cook on Sunday. I like cooking.  
 Yuki : Great! I'm not good at cooking. What can you cook?  
 John : I can cook curry. Let's cook it next Sunday!  
 Yuki : OK!

(1) ユキは、みどり公園にどのように行きますか。適切なものをア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。

ア 徒歩    イ 自転車    ウ バス    エ 車

(2) 次の日曜日にユキとジョンは、何をしますか。具体的に日本語で書きなさい。

出題の趣旨

⑤は、対話文を読んで、流れや場面を理解しながら、その内容に関する質問に答える問題である。

(1) については、ねらいを絞った読み取りが必要であり、We go there by bike. の there が何を指しているのかを理解するとともに、by bike を正確に読み取ることができるかどうかを把握するために出題した。また、(2) については、Let's cook it next Sunday! の it の内容を読み取るために、前後の文脈を正確に理解する必要がある。特に平成26年度調査では、文の前後の関係を意識して読み取ることに課題が見られたため、単語の知識だけでなく、部分的な内容理解から総合的に内容を読み取る力が身に付いているかどうかを把握するために出題した。

指導のポイント

1 代名詞の使い方に慣れさせる

教科書本文で使われている代名詞については、常に具体的に何を指しているのかを生徒に意識させながら音読活動を行うと効果的である。また、Writing 活動等においては、代名詞の置き換え練習を行うことで、代名詞の使い方に慣れさせたい。

2 時間制限を設定した読解練習を取り入れる

①教科書本文を読む前に、生徒に読み取らせたい項目を与え、制限時間内にその項目の答えの部分に線を引かせる。

②本文を読み終わった後、その本文を見ないで5W1Hの質問を行う旨を、生徒に事前に伝えてから本文を読ませる。制限時間内であれば本文を何度も繰り返して読んでもよいものとする。

## 中学校第1学年 書くこと

### 【特徴的な問題】

#### 問題 8

あなたは、クラスみんなに、あなたの家族や友達のうちだれか1人について、写真を提示しながら英語で紹介することになりました。その紹介文を This is に続けて、英文4文で書きなさい。ただし、同じ動詞は2回まで使ってよいものとします。なお、is は、1文目で使われているので、あと1回しか使えません。

[1文目] This is \_\_\_\_\_

[2文目] \_\_\_\_\_

[3文目] \_\_\_\_\_

[4文目] \_\_\_\_\_

#### 出題の趣旨

8は、家族や友達などの身近な人について、条件に従い、英文を書く問題である。これは、「さいたま市小・中一貫教育」カリキュラムにおいて、さいたま市の児童生徒にはぐくみたい外国語の力として示されている「具体的な使用場面において適切に理解し、表現する力」を育成することに関連させている。平成26年度正答率が48.9%であり、特に、3人称単数現在形の「s」の付け忘れが多いという課題が見られた。中学1年生においてポイントとなる言語材料である3人称単数現在形の「s」の定着がしっかりできているかどうか、また正しい語順や語法で英文が書けているかどうかを把握するために本年度も出題した。

#### 指導のポイント

「聞く、読む、話す、書く」という4技能の中で、特に英語を「書く」能力はすぐに身に付くというものではない上に、「書くこと」を苦手としている生徒が比較的多く見られる状況にある。

従って、日々の授業においては、長いスパンに渡って、継続的に、地道に指導を積み重ねていく必要がある。教科書の「Writing」「My Project」のようなプログラムを活用して、「書く」活動に時間をかけて丁寧に授業を展開していきたい。

#### ○取り組みやすくするために

文章を書く上で、わからない表現や単語等があった場合には、生徒に「教え合うこと」を伝える。気軽に周りの生徒に聞ける機会を設けることで、英作文に取り組みやすい雰囲気を作る。また、和英辞書の活用を図ったり、表現集を用意したりする。さらに、黒板には、英文を作成する上でヒントとなる語順表のようなものを掲示し、どの生徒も積極的に英作文に取り組みむことができるような配慮をすることも効果的である。

#### ○生徒に成就感を味わわせるために（スモールステップを細かく設定）

<例> ①発表する人の絵を描かせる。

②日本語で考えさせる。（生徒の状況によっては、英語で考えさせる。）

③英語のヒントを与え、日本語を英語に訳す。

「例・ He / She likes \_\_\_\_\_」

④③を基に、英作文を完成させる。

## 中学校第1学年 言語材料（文法事項等）

### 【特徴的な問題】

#### 問題 10

次の日本語に合うように（ ）内の語句を並べ替えたものとして正しいものを、それぞれア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。ただし、文頭にくる語でも小文字になっている場合があります。

- (1) あなたは、何枚CDを持っていますか。  
( ① CDs / ② do / ③ how / ④ you / ⑤ have / ⑥ many )?
- (2) この映画は子どもたちの間で人気があります。  
( ① is / ② with / ③ this movie / ④ popular / ⑤ children ).
- (3) 私は、サッカー部に所属しています。  
( ① of / ② I'm / ③ soccer club / ④ member / ⑤ a / ⑥ the ).

### 出題の趣旨

10は、日本語に合うように、与えられた語や語句を適切に並べ替える問題である。これは、学習指導要領に「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」とあるように、正しい語順や語法を用いて文を構成することを示している。また、「文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること」とあるように、正しい文法の知識が必要不可欠であるとしている。平成26年度の調査では、(1)の How many～? の正答率が49.3%であり、「疑問詞＋名詞」の語順については依然として課題が見られた。また、(2)の is popular with～ はさいたま市や日本の紹介などで、(3)の I'm a member of～ は自己紹介などで使用する機会は多くあると考えられる。「さいたま市小・中一貫教育」カリキュラムにおいて、さいたま市の子どもたちにはぐくみたい外国語科の力として示されている「具体的な使用場面において適切に理解し、表現する力」を育成するためにも、それぞれの表現の意味や機能に関する知識を身に付けているかどうかを把握するために出題した。

### 指導のポイント

文法指導の際に、まず口頭による導入を行い、「話すこと」「聞くこと」を中心とした定着を図る。また、ウォーミングアップの時間を利用し、意図的・継続的に復習を行う機会を設け、何度も「話す」「聞く」活動を繰り返していく。さらに、「読んだり」「聞いたり」したことを「話したり」「書いたり」するアウトプット活動につなげる4技能を関連付けた指導を行うことにより、着実に文法事項の定着を図っていく。定期的に行う小テストなどで生徒の定着度を確認し、生徒の実態に合わせて指導方法の工夫改善を図る必要もある。以下は、How many～? の導入展開例である。

①具体的にイメージできるように、導入時に箱を使い、その中に様々なものを入れ、箱を揺らし、中に何がどれくらい入っているのかを考えさせ、生徒に「How many + 名詞の複数形」の英文を作らせる。

How many \_\_\_\_\_ do you have?      Ex. = erasers / pens / balls / clips

②英文の板書に加え、ピックアップカードや絵を活用し、How many の後ろに入る名詞の複数形を入れ替え、何度も発音練習をさせる。また、自分の身の周りにあるものを使い、ペアで活動をさせる。

「板書」 How many \_\_\_\_\_ do you have?

何度も「How many + 名詞の複数形」を聞いたり・話したりする機会を設定し、その表現の定着を図る。

1 調査問題【出題の趣旨】

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <p>1<br/>3<br/>聞くこと</p>         | <p>①は、短い英語の問いかけに対し、適切な応答を選択する問題である。これは、学習指導要領の「質問や依頼などを聞いて適切に応じること」に関連させた問題であり、質問の内容や意図を正しく理解し、適切な応答を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>②は、短い英文や会話を聞き、その内容に合う絵を選ぶ問題である。これは、学習指導要領の「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること」に関連させた問題であり、英文や会話の内容を正しく理解し、それを絵として具体化できるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>③は、学習指導要領の「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」、及びさいたま市小・中一貫『潤いの時間』「英会話」における「英語によるコミュニケーション力の構成要素」である『「推測し、理解する力」(聞く力)』を育成することに関連させた問題である。英語のスピーチを聞いて、その内容に関する質問に答える問題であり、スピーチ全体の概要や内容の要点をとらえることができるかどうかを把握するために出題した。</p> |
| <p>4<br/>6<br/>読むこと</p>         | <p>④、⑤、⑥は、学習指導要領の「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」、及び「さいたま市小・中一貫教育」外国語科の重点化を図る指導内容である「ある程度の長さの物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」に関連させた問題である。</p> <p>④は、対話文を読んで、その内容に関する質問に答える問題であり、対話文の概要や要点を理解し、文と文のつながり及び時間の流れを正しくとらえることができるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>⑤は、対話文を読んで、その内容に関する質問に答える問題であり、対話文の概要や要点を理解し、英問英答による内容把握及び書かれている内容を絵として具体化できるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>⑥は、まとまりのある英文を読んで、その内容に関する質問に答える問題であり、英文の概要や要点を理解し、筆者が言いたいこと及び日本語の要約文に関する情報を正確に読み取ることができるかどうかを問うために出題した。</p>   |
| <p>7<br/>8<br/>書くこと</p>         | <p>⑦は、絵の内容に関する英問英答の問題である。これは、「さいたま市小・中一貫教育」カリキュラムにおいて、さいたま市の児童生徒にはぐくみたい外国語科の力として示されている「具体的な使用場面において適切に理解し、表現する力」を育成することに関連させた問題であり、絵と英語の質問の内容を正しく理解し、場面に適した英文を書くことができるかどうかを把握するために出題した。</p> <p>⑧は、自分の夏休みの思い出を、条件に従い、英文で書く問題である。これは、学習指導要領の「身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと」、及び「さいたま市小・中一貫教育」外国語科の重点化を図る指導内容である「自分の経験したことを自分の気持ちを含めて、読み手に伝わるように文と文の順序や相互の関連に注意を払ってまとまりのある文章を書くこと」に関連させた問題であり、自分が体験したことに関して自分の考えや気持ちを含めて、まとまった英文を書くことができるかどうかを把握するために出題した。</p>  |
| <p>9<br/>10<br/>言語材料(文法事項等)</p> | <p>⑨は、対話の場面や流れに合った適切な英文や慣用表現を選択する問題である。これは、「さいたま市小・中一貫教育」カリキュラムにおいて、さいたま市の児童生徒にはぐくみたい外国語科の力として示されている「具体的な使用場面において適切に理解し、表現する力」を育成することに関連させた問題であり、具体的な場面や状況に合った適切な表現に関する知識を身に付けているかどうかを把握するために出題した。なお、(1)は、中学1年生においても同一問題を出題した。</p> <p>⑩は、対話の流れを読み取り、与えられた語や語句を適切に並べ替える問題である。これは、学習指導要領の「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」や「文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること」に関連させた問題であり、それぞれの文法事項の意味や機能に関する知識を身に付けているかどうかを把握するために出題した。なお、(1)は、中学1年生においても類似問題を出題した。</p>  |

## 2 調査問題一覧表【設問別】

| 設問番号  | 設問のねらい  | 問題       |          | 評価の観点                                |   |                                      |                                      | 市<br>正答率<br>(%) | 市<br>無解答率<br>(%) |
|-------|---|----------|----------|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------|------------------|
|       |   | 基礎<br>問題 | 活用<br>問題 | 関<br>心<br>・<br>意<br>欲<br>・<br>態<br>度 | コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン<br>へ<br>の | 外<br>国<br>語<br>表<br>現<br>の<br>能<br>力 | 外<br>国<br>語<br>理<br>解<br>の<br>能<br>力 |                 |                  |
| 1(1)  | 問いかげの過去進行形の疑問文 What were you doing~? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。        | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 45.5            | 0.8              |
| 1(2)  | 問いかげの提案・勧誘を表す英文 Why don't you~? の内容を理解し、適切な応答を選択することができる。             | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 69.4            | 0.6              |
| 1(3)  | have to を含んだ問いかげの内容を理解し、適切な応答を選択することができる。                             | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 67.1            | 0.7              |
| 2(1)  | 英文を聞いて、There is (are)~ の英文の内容を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。         | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 90.9            | 0.8              |
| 2(2)  | 会話を聞いて、天気や寒暖の表現を含んだ英文の内容を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。              | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 81.4            | 1.0              |
| 2(3)  | 会話を聞いて、未来を尋ねる疑問文とその応答の内容を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。              | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 75.0            | 0.8              |
| 2(4)  | 英文を聞いて、不定詞の副詞的用法を含んだ英文の内容を理解し、絵の内容に合っている適切な英文を選択することができる。             | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 81.9            | 0.9              |
| 3(1)  | 英語のスピーチを聞いて、内容の要点を理解し、疑問詞 why で始まる疑問文に対する適切な応答を選択することができる。            | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 77.7            | 1.5              |
| 3(2)  | 英語のスピーチを聞いて、内容の要点を理解し、How long で始まる疑問文に対する適切な応答を選択することができる。           | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 76.8            | 1.8              |
| 3(3)  | 英語のスピーチを聞いて、内容の要点を理解し、日本とニュージーランドの違いを適切な日本語で説明することができる。               |          | ○        |                                      |   | ○                                    |                                      | 29.6            | 23.7             |
| 4(1)  | 対話文を読んで、要点を理解し、理由を述べる際に使う because に続く適切な英文を選択することができる。                | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 84.0            | 1.2              |
| 4(2)  | 対話文を読んで、概要や内容を理解し、時間の流れに沿った順番に英文を並べ替えることができる。                         |          | ○        |                                      |   | ○                                    |                                      | 38.6            | 1.1              |
| 5(1)  | 対話文を読んで、要点を理解し、疑問詞 who が主語になっている疑問文に対する応答を適切な英語3語で書くことができる。           |          | ○        |                                      |   | ○                                    |                                      | 26.1            | 10.1             |
| 5(2)  | 対話文を読んで、概要や要点を理解し、対話文の内容に合った適切なクリスマスカードを選択することができる。                   |          | ○        |                                      |   | ○                                    |                                      | 78.3            | 1.0              |
| 6(1)  | まとまりのある英文を読んで、概要や要点を理解し、筆者が言いたいことを表している適切な英文を選択することができる。              | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 51.2            | 4.8              |
| 6(2)  | まとまりのある英文を読んで、要点を理解し、日本語の要約文を完成することができる。                              |          | ○        |                                      |   | ○                                    |                                      | 24.9            | 19.0             |
| 7     | 絵の内容について尋ねている過去進行形の疑問文に対する適切な応答を英語4語以上で書くことができる。                      | ○        |          |                                      |   | ○                                    |                                      | 50.9            | 11.6             |
| 8     | 夏休みにしたことや夏休みの思い出について、条件に従って、適切な英文4文で書くことができる。                         |          | ○        | ○                                    | ○   |                                      |                                      | 35.3            | 10.0             |
| 9(1)  | 対話の流れを読み取り、曜日を尋ねる際に使う適切な英文を選択することができる。                                | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 66.3            | 1.5              |
| 9(2)  | 対話の流れを読み取り、相手の質問に対する適切な応答を選択することができる。                                 | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 65.6            | 1.6              |
| 9(3)  | 対話の場面を読み取り、相手に待ってもらう際に使う適切な電話の慣用表現を選択することができる。                        | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 71.6            | 1.9              |
| 9(4)  | 対話の場面を読み取り、店員が客に対して使う適切な慣用表現を選択することができる。                              | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 80.7            | 1.7              |
| 10(1) | 対話の流れを読み取り、「How many +名詞~」の語順になるように、与えられた語や語句を適切に並べ替えることができる。         | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 64.9            | 1.8              |
| 10(2) | 対話の流れを読み取り、「I am good at ~ing ...」の語順になるように、与えられた語や語句を適切に並べ替えることができる。 | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 62.2            | 1.9              |
| 10(3) | 対話の流れを読み取り、不定詞の形容詞的用法を使った英文になるように、与えられた語や語句を適切に並べ替えることができる。           | ○        |          |                                      |   |                                      | ○                                    | 65.8            | 2.0              |

### 3 特徴的な問題と解説

#### 中学校第2学年 聞くこと

##### 【特徴的な問題】

##### 問題3

これから Tom (トム) がスピーチをします。そのスピーチを聞いて、次の(1)(2)の質問に対する答えをスピーチの後に放送されるア～エの中から1つ選んでその記号を書きなさい。また、(3)は、日本語の質問に日本語で答えなさい。

<放送台本>

Hi, my name is Tom. I'm from New Zealand. Our city has a student exchange program with Saitama city. So I came to Japan. I'm staying at Takashi's house for two weeks. This is my first time to visit a foreign country, so I'm very excited now in Japan. There are a lot of new things for me. For example, in New Zealand we bring our own lunch from our house. But in Japan you can eat school lunch in the classroom. Today I tried it. It was very good! And after school, you join your club activities. In New Zealand we don't have club activities. I like to play basketball, so I want to play it with the basketball team. I'm looking forward to playing basketball with you. Thank you.

- (1) Why did Tom come to Japan?
- (2) How long is Tom staying at Takashi's house?
- (3) トムにとって、日本とニュージーランドの違いは何ですか。トムのスピーチの中から1つ選んで日本語で書きなさい。

##### 出題の趣旨

③は、まとまりのある英文(スピーチ)を聞いて、その内容に関する質問に答える問題である。学習指導要領では「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を正確に聞き取ること」とあり、スピーチや機内アナウンス、天気予報など一つのテーマに沿って話されたものや内容に一貫性のあるものを聞いて、話し手が伝えたいことや、聞き手として必要な情報を理解できるようになることが必要であるとしている。また、さいたま市小・中一貫『潤いの時間』「英会話」では、「英語によるコミュニケーション力の構成要素」である「『推測し、理解する力』(聞く力)」を育成することを目標としている。特に、(1)(2)については、あらかじめ提示されている質問を読んだ上で、ポイントを絞って正確な情報を聞き取ることができるかどうかを、(3)は、日本とニュージーランドの違いに関する必要な情報を正しく日本語でまとめることができるかどうかを把握するために出題した。

##### 指導のポイント

##### 1 授業はできる限り英語で進め、自然なスピードで話す英語に慣れさせる

教師やALTが話す自然なスピードの英語を聞き、必要に応じてメモをとったり、聞き取ったことを発表させたりする。また、聞き取りのポイントとなる語句や表現をヒントとして与えたり、内容理解を容易にさせるために、日本語で聞き取りのポイントを与え、そのことを日本語で答えさせたりするなど、正確に聞き取らせるための指導を行う。

##### 2 複数の情報を含んだ、まとまりのある英文を聞いて、内容把握を行う場面を普段から設定する

教科書の内容を導入する際に、デジタル教材やピクチャー・カードを活用しながら、Oral Interaction や Oral introduction を行うことで、内容理解を容易にさせ、その後、True or False、Q&Aなどで要点が聞き取れたかどうかの確認及び指導を行う。

## 中学校第2学年 読むこと①

### 【特徴的な問題】

#### 問題4

(2) 次のア～エのリサの行動を、時間の流れに沿って正しい順に並べ替え、その記号を書きなさい。

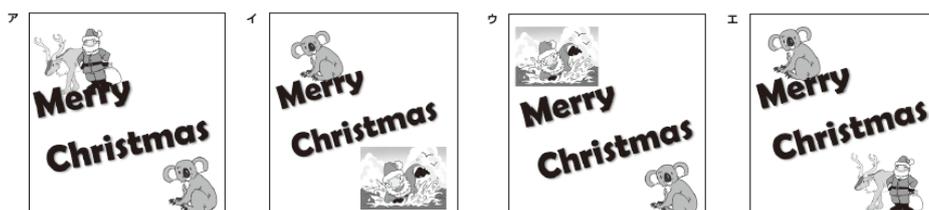
- ア お母さんの手伝い      イ 和太鼓のイベント  
ウ 公園でテニス          エ 友達と和太鼓の演奏

#### 問題5

次の質問に対する答えを、英語3語で書きなさい。

(1) Who is in Australia now?

(2) マイクとアヤが見ているクリスマスカードとして最も適切なものを下のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。



### 出題の趣旨

4、5は対話文を読み、その内容に関する質問に答える問題であり、対話文の概要や要点を読み取る力が身に付いているかどうかを把握するため出題した。特に、4(2)は、時間の流れを正しくとらえることができるかどうかを、5(1)は、疑問詞 who が主語になっている疑問文に対する応答を英文で書くことができるかどうかを、5(2)は、対話文の内容を絵として具体化しながら読むことができるかどうかを出題の趣旨とした。

### 指導のポイント

#### 1 ある程度まとまった長さの英文を読み、内容を正しく読み取る力を付ける取組

英文の内容を正しく読み取らせるために、普段から5W1Hを意識した質問を取り入れて、事実関係や理由等を明確にしながら読み進める指導を行っていく必要がある。また、becauseなどの接続詞や、on, underなどの場所を表す前置詞などが文中に出てきたときには、正しく理解できているかどうかを、学級全体あるいは個々に確認させながら読み進めることで、生徒は容易に概要や要点をとらえることができると考えられる。継続的に、対話文全体を丁寧に読む習慣を付けさせたい。

#### 2 英語の語順や文法事項を意識させて、正しく質問に答える力を付けさせるための取組

疑問詞 who が主語になっている疑問文は難易度が高い上に、頻出の表現ではない。しかしながら、生徒にしっかりと理解させたい表現である。平成26年度調査の分析において指摘されているように、特に答え方については、文法に関する正しい知識を身に付けておく必要がある。日々の授業においても、英問英答を適宜取り入れ、Oral interactionの中では答えの中心となる語や語句のみでの応答を可としつつも、書いて答えるときには正しく全文を書けるところまで求めるなど、正しい応答の仕方を常に意識させるような指導をしていくことも必要である。

## 中学校第2学年 読むこと②

### 【特徴的な問題】

#### 問題6

(2) 次の日本文の内容が本文の内容に合うように、①と②の( )に入る適切な日本語を書きなさい。

佐藤先生は、将来私たちにとって大切なことは①( )であるといつも言っている。先生自身、5月30日にクリーン活動に参加し多くの事を学び、時々一人で家の近くの公園や道路の掃除するようになった。

玲子(Reiko)は、お母さんがすすめてくれた活動に参加する予定で、これからは、身近な物を大切に使い、それらをすぐに②( )事を心掛けるつもりです。

#### 出題の趣旨

⑥は、まとまりのある英文を読んで、その内容についての質問に答える問題である。これは、学習指導要領及び「さいたま市小・中一貫教育」外国語科の重点化を図る指導内容である「ある程度の長さの物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること」に関連させており、特に、(2)は、英文の概要や内容を理解し、日本語の要約文に入る適切な語についての情報を正確に読み取り、それを日本語で書くことができるかどうかを把握するために出題した。

#### 指導のポイント

##### 1 全体の内容を把握するための取組

まとまりのある英文を読む際に、文章全体の内容を理解させるための活動が必要となるが、文章が長くなればなるほど、生徒にとっては難易度が高くなっていく。そこで、長い文章を読む際には、文章中のキーポイントとなる語や語句などを活用した質問を生徒に与えると比較的容易に内容を読み取ることができる。このように、文章全体を詳細に理解させることよりも、質問を通して、内容の概要や要点を把握させることに焦点を当てると効果的である。リーディングポイントやリーディングの際に使用するワークシート等を工夫することによって、文章の一文一文に目を向けさせるのではなく、文章から何を読み取ればよいのかを日頃から生徒にはしっかりと指導していきたい。なお、生徒に与える質問については、日本語や英語による質問を与える方法もある。

##### 2 読解力を向上させるための語彙力の定着を図る取組

読解力を高めるには、語彙力・そして文法力が必要である。語彙力を増やすためにデジタル教材やフラッシュカードなどの視覚教材を使用した活動を取り入れ、単語の意味を視覚的に理解させるようにする。その後、口頭による練習を繰り返し丁寧に行うことで単語の定着を図る。また、日本語を英語に直す単語テスト、英文の中に単語を穴埋めするテスト、覚えさせたい単語を使用した英作文などのアウトプット活動を取り入れるなど、段階的にステップアップを図りながら、学習した単語を復習できる機会を設けることが必要である。文法指導も同様に、既習の学習内容を復習する機会を定期的に設けるようにしたい。

## 中学校第2学年 書くこと

### 【特徴的な問題】

#### 問題8

次の条件に従い、夏休みにあなたがしたことや思い出について、自分の考えや気持ちなどを含め、まとめた内容の文章をそれぞれ4語以上の英文で書きなさい。ただし、動詞は4文とも全て違うものを使うこととします。なお、am は、1文目で使用するので、2文目以降では使えません。

<条件>

①1文目は、I am going to で始め、「私の夏休みについて話します。」という文を書きなさい。

※<夏休み>summer vacation

②2文目・3文目は、あなたが夏休みにしたことや夏休みの思い出について書きなさい。

③4文目は、自分の考えや気持ちなどを書きなさい。

#### 出題の趣旨

⑧は、自分の夏休みの思い出を、条件に従い、英語で書く問題である。これは、学習指導要領の「身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと」及び「さいたま市小・中一貫教育」外国語科の重点化を図る指導内容である「自分の経験したことを自分の気持ちを含めて、読み手に伝わるように文と文の順序や相互の関連に注意を払ってまとまりのある文章を書くこと」に関連させている。今まで学習してきた文法事項や単語を活用し、考えや気持ちを含め、自分が経験したことを、まとめた英文で表現する能力を育成することが求められており、このような力が確実に身に付いているかどうかを把握するために出題した。

#### 指導のポイント

英文を書く能力の育成には、授業において、「書く活動」の時間を十分に確保するとともに、継続的に実施していく必要がある。

##### 1 「書く活動」の確保

英文を書くことに慣れさせる上で、「書く活動」を授業の中で継続的に実施することが必要である。しかしながら、常に授業の中で「書く活動」の時間を確保することは難しい現状があるので、授業の最初や最後の時間に、復習の時間や帯活動として取り入れ、年間を通し「書く活動」を継続的に設けていく。

##### 2 「話すこと」と「書くこと」を統合的、継続的に

文法事項の指導の際、コミュニケーション活動を通して、口頭による練習を十分行った後に、書く活動を取り入れることで、より一層の定着を図りたい。最初は、教師が課題（例えば、「私はあなたにプレゼントをあげる。」）を提示し、その英文を書かせる。その後、give や ask という単語だけを与えて書かせるなど、生徒の実態に応じて少しずつステップアップさせる。次に、自分の経験や考えをまとめた英語で口頭で発表できるようにし、最終的に英文で書くことができるように指導していく。

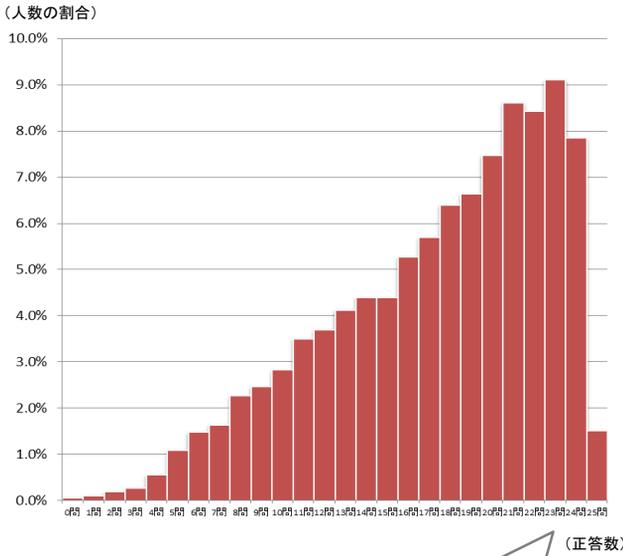
##### 3 生徒が使いやすい表現や生徒に定着させたい表現は意図的に

自分の考え等を英語で表現するためには、その土台となる文法事項等の言語材料の定着を図ることは大切なことである。そのためには、特に、「繰り返し」の活動が重要であり、生徒が使いやすい表現や生徒に定着させたい表現を、教師が授業中に意図的に何度も使用することが効果的である。何度も使用することで、生徒の記憶にも残り、実際の使用例の提示にもつながるので、生徒が使用する表現を増やすことが期待される。

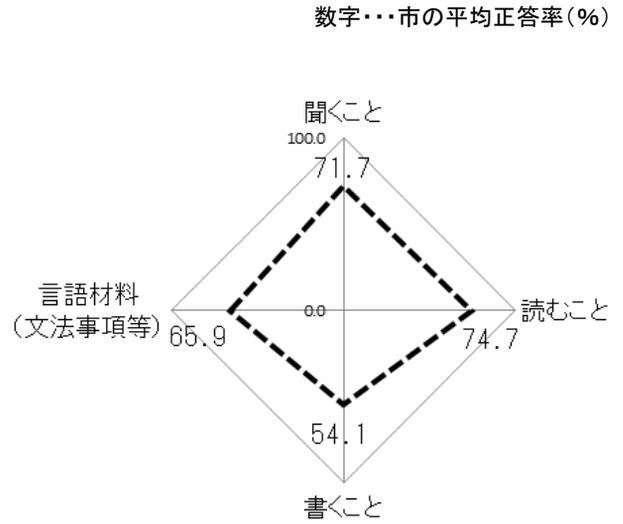
### Ⅲ 調査結果概況【市全体】

#### 中学校第1学年【英語】

【正答数分布】(全25問)



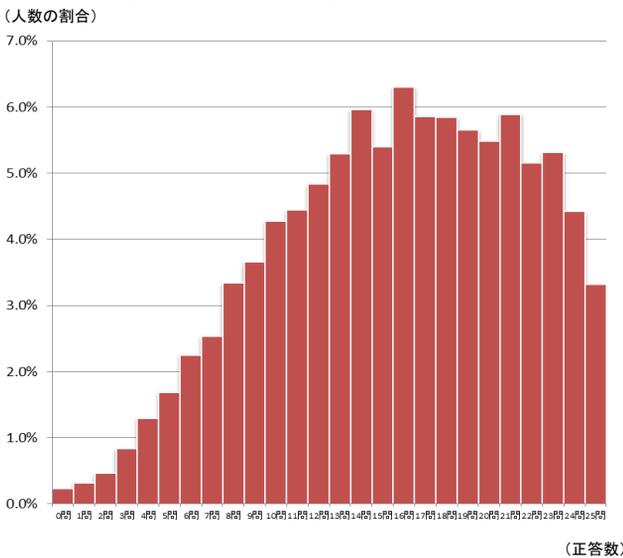
【領域別レーダーチャート】



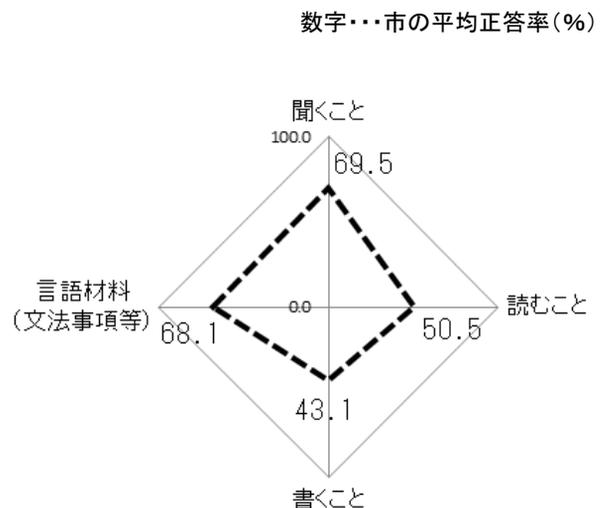
正答数ごとの人数の割合を示したものです。  
例えば、25問中23問正答した児童の割合が9.0%程度であることを表しています。

#### 中学校第2学年【英語】

【正答数分布】(全25問)



【領域別レーダーチャート】



## IV 成果と課題

### (1) 中学校第1学年

#### <成果>

- 【聞くこと】全体の平均正答率は70%を超えており、大まかに内容を理解する力は身に付いているといえる。特に、小学校「英会話」で扱った問題の平均正答率は78.3%であり、「さいたま市小・中一貫教育」により英語に慣れ親しんでいる成果と考えられる。
- 【読むこと】基礎問題は、どちらも平均正答率が80%を超えており、内容を理解する力は良好であるといえる。
- 【書くこと】「身近な人についての紹介文」を書く問題は、平成26年度調査に比べ、平均正答率が6.7%上がっており、授業における取組の成果が現れていると考えられる。
- 【言語材料】「How many+名詞」の語順を問う問題は、平成26年度調査に比べ、平均正答率が16.7%上がっている。今後も生徒に使用する機会を与えることで、より定着を図りたい。

#### <課題>

- ▲【聞くこと】「湯豆腐を食べる人数」を問う問題は、その平均正答率が12.9%であり、課題がみられた。まとまりのある英文を聞く機会をより多く設け、質問等を通して、必要な情報をメモさせたりするなどの活動を行わせることが必要であると考えられる。
- ▲【読むこと】英問英答の問題の無解答率が7.3%であった。英問英答については、口頭に加え、書かせることも習慣的に行う必要があると考えられる。
- ▲【書くこと】無解答率が約10%であり、課題がみられた。継続的に丁寧な指導を続けていく必要があると考えられる。
- ▲【言語材料】全体の平均正答率は65.9%であった。言語活動等を通して、より定着を図る必要がある。

### (2) 中学校第2学年

#### <成果>

- 【聞くこと】正しい絵を選択する問題の平均正答率は82.3%であり、会話等の内容を絵として具現化する力は身に付いているといえる。
- 【読むこと】理由を述べる際に使用するbecauseに関する問題や、視覚的な情報が与えられている問題については、平均正答率が75%を超えていた。生徒に長文を読み取らせる際には、あらかじめ質問を与え、読み取りのポイントを示したり、絵を活用した導入を行ったりすると効果があると考えられる。
- 【言語活動】電話や買い物の際の慣用表現を問う問題の平均正答率は70%を超えていた。言語の使用場面を踏まえた言語活動が積極的に行われている成果が現れていると考えられる。

#### <課題>

- ▲【聞くこと】「スピーチの内容を日本語で説明する」問題の平均正答率が29.6%、無解答率も23.7%と課題がみられた。必要な情報をメモし、その内容を説明させるような活動を行う必要があると考えられる。
- ▲【読むこと】平均正答率が40%を下回る問題や無解答率の高い問題もあり、課題がみられた。教科書の本文を扱う際に、キーワードや質問を与えるなどして、概要や要点を読み取る力を着実に身に付けさせたい。
- ▲【書くこと】無解答率が10%であり、課題がみられた。継続的に丁寧な指導を続けていく必要があると考えられる。
- ▲【言語活動】経年比較をみる問題は、どちらも今回の第1学年の結果を下回った。既習事項を取り入れた言語活動を繰り返し実施していく必要があると考えられる。